

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(北海道)

実施主体名	新篠津村輸出協議会
参画事業者	新篠津村農業協同組合・北海道・新篠津村・酪農学園大学・株式会社インターリージョン
対象品目 対象国・地域	マレーシア・フランス・台湾

推進体制の構築

- 情報共有と課題抽出を目的とした産地会議の開催
- 産地関係者のフランス研修の実施
- 新しのつ米（GABA米・精米）のトレーサビリティ情報の外国語発信
- マレーシアにおける現地プロモーション（GABA効果・使用方法の訴求）

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 （実績）	令和8年度 （目標）
コメ	36.95	144.50

生産の転換

- GABA米原料となる高タンパク品種の計画的栽培（ゆめぴりかからななつぼしへの品種転換）を実施
- 高品質なGABA米製造のため、衛星リモートセンシングを活用した収穫適期判断と適期マップの作製及び選別収穫の実施
- 従来よりも高GABA値のGABA米を「GABAプロテイン米PLUS（仮称）」として製造
- フランス向けに特別栽培米へ生産転換及び残留農薬検査分析の実施

流通の転換

- GABA米の通年供給を可能とするため冷凍保管の実証

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援採択地区の概要(宮城県)

実施主体名	宮城県 J A 農産物輸出促進協議会
参画事業者	全国農業協同組合連合会宮城県本部
対象品目 対象国・地域	さつまいも：香港・台湾他

推進体制の構築

- アドバイザーとしてJETRO仙台からの支援を受け、輸出先国プラットフォームから、現地のニーズ等を適宜・適時に収集し、生産現場並びに協議会内において共有
- 九州農産物直販（株）、宮城県庁他と定期的に情報交換
- 相手国で使用する販促資材の作成 SNS での情報発信及び、販促活動の実施

生産の転換

- 輸出相手国のニーズに対応するため、「苗の船底植え・斜め植え」方式による栽培実証に取り組み、収穫量・1本あたりの重量調査を行い、輸出向けに適した定植方法を検証
- 国内での残留農薬検査実施による分析とデータ蓄積と防除暦作成（台湾向け基準に則した残留農薬検査による輸出検討（残留農薬検査））

流通の転換

- 輸出計画数量を販売先と早期に共有するため、QRコードによる入出庫・在庫管理システムを導入
- 製品ロス率低減のため、台湾での保管販売を検証

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 （実績）	令和8年度 （目標）
かんしょ	8.1	16

（別記様式1から抜粋した数字であり、計画書と異なることがある）

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(秋田県)

実施主体名	秋田県
参画事業者	全国農業協同組合連合会秋田県本部、秋田県農業協同組合中央会 等
対象品目：対象国・地域	りんご：台湾、タイ、ねぎ：台湾

推進体制の構築

- 輸出に関わる農業団体、流通・貿易関係者、自治体等による「秋田県農畜産物輸出促進協議会（仮称）」を設立。※R7.8設立予定
- 輸出拡大に向けた現地でのプロモーション、輸出課題の解決に向けた実証試験、意識醸成を目的とした情報交換・交流、セミナーを開催。

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 （実績）	令和8年度 （目標）
りんご	0.9	2.3
ねぎ	1.2	2.9

生産の転換

- 【りんご】
- 残留農薬基準値が国内基準に比べ厳しく設定されているりんごにおいて、代替農薬を組み合わせた輸出規制に対応した病害虫管理体系の有効性を3地区で確認する。
- 【ねぎ】
- 高品質なねぎの輸出に向け、品質低下の要因となる細菌性病害の抑制につながる適正な施肥量、排水技術に関する栽培試験を1地区で実施する。

流通の転換

- 【りんご、ねぎ】
- 輸送コスト削減につながる最適な輸送方法（経路）の構築。
※異なる輸送経路における輸送コストの評価。
- 【ねぎ】
- 高品質輸送への最適な輸送方法（経路・形態）の構築。
※輸送方法の違いによる輸送中の商品温度、現地到着時の品質状態の把握。

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(山形県)

実施主体名	やまがた尾花沢・東根・天童フルーツ輸出協議会「百笑苦楽分」
参画事業者	株式会社あさあけ農場、株式会社FARMER'S、水戸農園 等
対象品目 対象国・地域	スイカ、さくらんぼ、ラフランス、もも：シンガポール、香港、タイ、UAE

推進体制の構築

- 尾花沢市、天童市、東根市生産者・物流業者・金融機関・輸出専門家を束ねながら、冷凍青果物の輸出に向けた大規模輸出産地の形成を目指した輸出促進体制の構築
- 海外に認知されるための本協議会のホームページを作成

生産の転換

- 中東、東南アジアへの輸出に向けた生産基準・出荷ルールの方策
- 完熟状態で収穫するため、農薬使用と収穫基準の統一と調整
- 品目・品種ごとに中東、東南アジアのバイヤーと消費者に訴求力のある新たなパッケージの開発

流通の転換

- 完熟果実の急速冷凍による品質を保ったまま、海外に届ける冷凍供給体制を検証
- 豊洲市場の流通業者と連携し、鮮度保持型パッケージや物流ルートの改善
- 物流や販路開拓の専門家の年間サポートを受けながら、海外市場への販路開拓を推進

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 (実績)	令和8年度 (目標)
スイカ、さくらんぼ、ラフランス、もも	5	32

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(東京都)

実施主体名	アスノヤマト輸出促進協議会（ぶどう）
参画事業者	(株)日本農業、ジャパンフルーツ（株）、REACT（株）
対象品目 対象国・地域	ぶどう：台湾、インドネシア

推進体制の構築

- REACT（株）とジャパンフルーツ（株）にて生産及び選果梱包の役割を担い、（株）日本農業が他品目で得た輸出エクスポーター機能を駆使し輸出を実施
- 海外の規制に対応したぶどうの試験的な輸出実証・販路開拓として、開拓市場であるインドネシア向けに、ジャパンフルーツ社のGLOBALG.A.P.認証品の初輸出を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 （実績）	令和8年度 （目標）
ぶどう	67.0	➡ 122

生産の転換

- 圃場管理にかかる作業時間削減のため、シャインマスカットの省力栽培技術の導入及びスマート農業機械の自動走行機能を活用した管理作業の実施
- 品質向上のため、積算温度計や土壌水分計の導入による精緻な収穫適期の予測や着色不良の改善を検討
- 大規模栽培の営農管理に活かすため、国内外の事例（根域制限栽培での自動化機械の活用、大房栽培、企業として生産・輸出している事例）を視察

流通の転換

- 他国産との差別化のため、日本産が明確にわかる和をモチーフとしたデザインの開発及びその活用
- 長期間での棚を確保するため、産地リレーを行いながら、航空輸送での台湾輸出を実施
- 今後の選果場の運営・管理に活かすため、選果場を大規模に運営している海外の事例を視察

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(富山県)

実施主体名	富山干柿等輸出促進協議会
参画事業者	 (農)富山干柿出荷組合連合会、(農)富山あんぽ柿共同加工センター、福光農業協同組合、なんと農業協同組合、南砺市、富山県
対象品目 対象国・地域	かき加工品（干柿・あんぽ柿等）：タイ、カナダ

推進体制の構築

- 富山干柿及びあんぽ柿の海外販路拡大を図り、生産者の所得向上とともに輸出産地としての発展を目指すことを目的に、(農)富山干柿出荷組合連合会が中心となり、生産者や関係機関、行政等をメンバーとする協議会を設立
- 富山干柿等の輸出促進に関する計画の策定、輸出向け生産・加工・流通体制の構築、海外市場調査及びプロモーション活動を実施

生産の転換

- 海外で求められる冷凍流通に適した解凍後の品質等を維持するための乾燥・加工技術を検討、実証実験を実施
- 輸出用に向けた原料柿を確保・増産するため、生産の安定化を通じて、輸出のロットを確保するよう、炭そ病、カメムシ類防除に効果的な農薬を検討
- 価格競争力を高めるため、価格が高騰している練炭の使用量の低減に資する新たな干し柿加工技術を検討

流通の転換

- 将来的な大量輸出を見据え、地元港湾を利用した海外輸送の検証
- 干し柿・あんぽ柿の冷凍・冷蔵輸送、販売の検証及び冷凍・冷蔵に対応した出荷箱を試作

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 (実績)	令和8年度 (目標)
かき 加工品	90	➡ 120

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(長野県)

実施主体名	長野県
参画事業者	長野県農産物等輸出事業者協議会、  J Aみなみ信州、八十二Link Nagano株式会社
対象品目 対象国・地域	市田柿：タイ、台湾 ぶどう：インドネシア

推進体制の構築

生産の転換

流通の転換

【品目共通】

- 年1回、関係者を招集した長野県農産物等輸出事業者協議会の総会・輸出セミナーを開催
- 販路開拓・拡大に向けた輸出支援プラットフォーム等と連携した販売促進活動を展開

【市田柿】

- 新規にタイ向けの輸出に取り組むため、園地整備の実施により、他品目から柿への品目転換を進め、市田柿の生産規模を拡大（本年度事業で約40aの園地整備を実施）
※併せて、タイにおける市田柿の市場調査を実施

【ぶどう】

- インドネシア向け販路開拓のため、残留農薬分析検査を行い、インドネシアの規制に即した生産を拡大

【市田柿】

- 台湾向け市田柿の輸出拡大を図るため、産地バンニングの試行を通じて流通コストの削減を検証

【ぶどう】

- 産地からインドネシアまでの新たな物流体系を構築するため、テスト輸送を通じて品質（ロス率）への影響やコスト分析を実施

※併せて、インドネシアにおけるぶどうの市場調査を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 （実績）	令和8年度 （目標）
市田柿 ぶどう	222	➡ 271

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(長野県)

実施主体名	北信濃輸出促進協議会
参画事業者	浅沼果樹園、三井農園、川島農園（同）、（同）SOW、(株)eff、日本ギルド(株)等
対象品目 対象国・地域	ぶどう、桃、りんご、スモモ：カナダ、フランス

推進体制の構築

- 長野県産の食品に関する輸出支援プラットフォームやGFP等と連携した出口を見据えた商流構築や販路開拓
- 大規模な輸出産地のモデル構築に向けた生産・流通の転換を実施するための関係者との連絡調整を実施

生産の転換

- 新規に輸出に取り組む生産者を増やす必要があるため、輸出事業者や海外バイヤーを現地に招聘した産地視察ツアー、輸出セミナーを開催し、輸出を希望する生産者の気運を醸成
- 輸出相手国・地域の残留農薬基準に対応するため、残留農薬分析を行い、使用農薬と防除回数の見直しを実施

流通の転換

- 輸送中の鮮度を維持するため、保水キャップの開発とテスト輸送を実施
- 品質保持と物流コストを低減を両立するため、協議会が構築した市場物流便を活用した一括物流

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 (実績)	令和8年度 (目標)
全品目	0	⇒ 14.8

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(岡山県)

実施主体名	岡山備中ブドウ輸出産地育成協議会
参画事業者	濱農産、中島農園、備中美味しいブドウ研究会等
対象品目 対象国・地域	ぶどう・ぶどう加工品：台湾

推進体制の構築

- 生産農家（30件）によるぶどう生産基盤の再構築及び輸出ロットの確保
- 海外販路の開拓のため、加工品開発、試食・試飲プロモーション、商談会参加

生産の転換

- 耕作放棄地等を開墾し、作付面積を拡大
- 生産コスト低減のため、生産効率の高い栽培樹形（根域制限栽培）の導入
- 長期輸送リスク及び低コスト放任栽培（露地・無袋栽培）に対応可能な品種の検討

流通の転換

- 日本サイドの商社、輸出先国の商社を経由せず、ダイレクトに現地の顧客に販売
- 輸送コストの低減及び輸送時間短縮のため、地元空港を活用した輸出ルートの確立

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 （実績）	令和7年度 （目標）
ぶどう・ぶどう加工品	0	10



R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(岡山県)

実施主体名	おかやま白桃輸出促進協議会
参画事業者	A TRA-DE株式会社、MOMONA Peach Farm他生産者9名、おかやまおひさまファーム株式会社、株式会社誠和、佐川急便株式会社
対象品目 対象国・地域	品目：桃・桃の加工品 対象国・地域：台湾、マレーシア、タイ、UAE

推進体制の構築

- A TRA-DEが協議会をとりまとめ、参画事業者と連携して岡山県内の桃および桃の加工品の輸出に取り組む
- 生産者10名と（株）誠和が連携し、バイオスティミュラント資材の活用によって高品質かつ輸送に耐え得る生産に取り組む
- おかやまおひさまファームが廃棄桃を活用して加工品として輸出する。
- 佐川急便による専用の配送ルート創りに取り組む

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 (実績)	令和8年度 (目標)
桃	0	15

生産の転換

- MOMONA Peach Farmが中心となり、新植・改植に取り組み、耕作放棄地も活用した輸出向け桃の生産拡大
- Y字型栽培の導入による生産力向上及び省力化の両立
- 品質向上のため、バイオスティミュラント資材の導入および活用方法の勉強会を実施
 - ※バイオスティミュラント資材：植物とその周辺の環境がもつ本来の力を用いて非生物的ストレスを軽減し、安定した生育と収穫を導く農業用の資材と技術のこと
- 登録基準が厳しい台湾向けの圃場登録を実施

流通の転換

- A TRA-DEが持つ販路をもとに、JETROと連携して、海外展示会への出店など新たに販路を開拓
- 桃を効率的に輸送するため、佐川急便による最短かつ効率的な国内輸送、海外輸送ルートを検討

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(岡山県)

実施主体名	総社市ぶどうスマート輸出促進協議会
参画事業者	A TRA-DE株式会社、総社市、秦果樹生産出荷組合、  JA晴れの国岡山、株式会社誠和、佐川急便株式会社
対象品目 対象国・地域	品目：ぶどう 対象国・地域：台湾、マレーシア、タイ、UAE

推進体制の構築

- A TRA-DEが協議会をとりまとめ、参画事業者と連携して総社市内の葡萄の輸出に取り組む
- 参画事業者と連携して年3～4回の検討会を実施
- 輸出支援プラットフォームや日本青果物輸出促進協議会等と連携

生産の転換

- 品質向上及び農薬使用量削減のため、スマート農業技術を導入したデータに基づく栽培管理を実施
- 品質向上のため、高付加価値型のバイオステミュラント資材や、ぶどうのかすり症抑制資材を活用

流通の転換

- A TRA-DEが持つ販路をもとに、JETROと連携して、海外展示会への出展も含めて新たな販路開拓を実施
- 効率的に輸送するため、佐川急便による最短かつ効率的な国内輸送、海外輸送ルートを検討
- 長距離・長期間の輸送を可能とするため、ぶどう専用コンテナ及び鮮度保持袋を活用

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 (実績)	令和8年度 (目標)
ぶどう	0.46	8



R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(岡山県)

実施主体名	岡山県果実生産出荷安定協議会
参画事業者	 JA全農おかやま、JA岡山中央会、JA岡山、  JA晴れの国岡山、岡山県 等
対象品目 対象国・地域	ぶどう：台湾、香港、シンガポール、タイ、UAE 桃：台湾、香港、シンガポール、タイ、UAE

推進体制の構築

- 新たな輸出産地の掘り起こしや、民間企業と協力した輸出拡大に向けた推進体制の構築
- 部会・生産者等を対象にした輸出説明会の開催、競合産地や輸出先国への視察派遣等による輸出に向けた機運の醸成
- 輸出支援プラットフォームと連携した海外バイヤーの招聘、現地調査やプロモーション等による販路の拡大

生産の転換

- タイ輸出向けの選果施設として、JA全農おかやま藤田総合流通センターの選果施設の体制整備に向けた検討
- 県内主要産地や民間企業等と協力した輸出向けの産地振興の検討
- 輸出向けの新たな栽培技術の試験や選定品種の品質調査
- タイ等の残留農薬基準に適合した栽培体系確立のため、残留農薬分析や防除暦の見直し、園地登録に向けた支援の実施

流通の転換

- 新たな輸出ルート of 構築・販路拡大のため、JA全農インターナショナルと協力した輸出試験の実施
- 長距離輸出試験を実施し、鮮度保持技術の効果を検証
- 長期安定供給や選定品種の販路拡大を目的とした、輸出試験及び品質等の調査
- 岡山県産ぶどうの輸出専用資材やPR資材の開発

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度(実績)	令和8年度（目標）
ぶどう	1,125	1,228
桃	38	47

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(徳島県)

実施主体名	徳島いちご輸出産地形成協議会
参画事業者	ヴェリタス（株）、生産者、（株）世界市場、Nippon ICHIBA Taiwan Company Ltd.、徳島県等
対象品目 対象国・地域	いちご：台湾、香港、東南アジア、米国

推進体制の構築

- 中長期的視点に立った輸出産地としての生産基盤の形成・拡大と流通体制の整備
- 東南アジアや米国等、台湾市場以外の調査・情報収集
- 新たに協議会に所属する生産者を発掘

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 （実績）	令和8年度 （目標）
いちご	1.1	➡104.3

生産の転換

- 農薬の使用量削減のため、IPM防除の推進
※IPM防除：農作物に有害な病害虫・雑草を利用可能な全ての技術（農薬も含む）を総合的に組み合わせで防除すること
- 使用農薬が制限される台湾向けの輸出のため、炭疽病対策の育苗施設の整備
- 輸送・品質確認のため、複数品種での栽培
- JGAP/ASIAGAPの認証取得への取組

流通の転換

- 貸倉庫を利用し、その中で品質保持・植物検疫対策ができる機能を導入し、将来の施設設計のためのデータ収集を実施。
- 最適な予冷環境のため、予冷と植物検疫対策に適した収穫資材の導入

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(東京都)

実施主体名	アスノヤマト輸出促進協議会（キウイ）
参画事業者	(株)日本農業、ジャパンフルーツ（株）、Orchard&Technology（株）
対象品目 対象国・地域	キウイフルーツ：台湾

推進体制の構築

- 定期的な情報共有会議の開催、品質・規格基準の統一、輸出先市場（主にアジア圏）に応じたパッケージや販促資料の整備を共同で行うなど、生産者・流通事業者・（株）日本農業を含む輸出事業者が一体となって取り組む体制を構築
- 生産者、技術者を対象とした勉強会を実施

生産の転換

- 技術が未確立なストリングング（翌年によく実をつけそうな枝を選定し、棚の上方に紐で巻き付けておく作業）技術の課題（枝ごとに生育がばらつく、枝が絡まる等）解決のため、作業手順の最適化を検証
- 科学的栽培管理の強化のため、物理性測定機器の測定範囲を拡大し、圃場毎のデータ収集・解析を本格化
- 香川県外でも栽培可能な新品種（自社育種・海外新品種）の育成に向けて、自社育種中の候補樹の食味評価を実施

流通の転換

- 輸出に適した小玉果実の取り扱い基準の策定や包装資材の改良や荷姿平準化など、輸出仕様に対応した選果・包装体制を整備
- 品質維持のため、予冷・追熟設備の検討及び港までの低温物流の確立
- 海外バイヤーや販売先からのニーズ収集（サイズ・食味・外観など）と市場フィードバックに基づく選果基準の検討

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 （実績）	令和8年度 （目標）
キウイフルーツ	0	2.2



R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、長崎県)

実施主体名	九州みかん輸出拡大協議会
参画事業者	JAみなみ筑後柑橘部会、JAふくおか八女かんきつ部会、(株)石橋果樹園、長崎でじま青果(株)、JAながさき県央、(株)ファームオリンピア、  (株)ネイバーフッド、(株)ファーマインド、九州農産物通商(株)
対象品目 対象国・地域	対象品目：うんしゅうみかん、ゆず、きんかん、不知火、せとか、天草 対象国・地域：台湾、ベトナム、タイ、米国、香港、マレーシア、英国、UAE、シンガポール

推進体制の構築

➢輸出ノウハウの横展開により、既存の連携産地の底上げを行うとともに新規産地の掘り起こしを行い、輸出推進を図るため、九州のうんしゅうみかんをはじめとする柑橘生産者、輸出商社、流通業者、行政等をメンバーとする協議会（「九州みかん輸出拡大協議会」）を令和6年度に設立 ➢令和7年度、JAながさき県央を新会員として迎え、連携体制を強化

生産の転換

（「九州みかん輸出拡大協議会」内に台湾、タイ、ベトナム、米国、その他複数国チームにてそれぞれ生産の転換を実施） （主な取組） ➢ベトナム・タイ・米国向けの植物検疫や、台湾向けの農薬規制に対応するため、ミカンバエ調査やドリフト対策等を実施 ➢タイ向け日本産かんきつ類（ゆず、きんかん、不知火、せとか、天草）の輸出拡大のため、輸出用園地整備及び栽培を実施

流通の転換

（「九州みかん輸出拡大協議会」内に台湾、タイ、ベトナム、米国、その他複数国チームにてそれぞれ流通の転換を実施） （主な取組） ➢九州農産物通商（株）が輸送主体となり複数産地のロットを集約し、できるだけ市場を介さない輸出ルートを検討 ➢抗菌鮮度保持剤「ワサオーロ」などを活用した傷み軽減対策及び試験輸送の実施 ➢出荷こん包に係る資材の強化、積込形態・コンテナ設定温度の最適化を検討 ➢米国トランプ関税影響調査及び対応検討 ➢各県産地単独でなく、「九州産うんしゅうみかん」として一体的なプロモーションを実施
--

輸出額目標（百万円）

品目	令和6年度 （実績）	令和8年度 （目標）
うんしゅうみかん	48.4	➡ 78.2

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、奈良県、三重県、長野県)

実施主体名	3色いちご輸出拡大協議会
参画事業者	JAみなみ筑後、JA粕屋、ベジフルファーム（株）、JA糸島、岸川農園、ハヤシダファーム、鐘ヶ江農園、溝口農園、渋田いちご園、むらおか農園、平川いちご農園、長崎でじま青果(株)、  (株)イチゴラス、(株)アグリテックプラス、遊士屋(株)、(株)精農舎、九州農産物通商(株)
対象品目 対象国・地域	対象品目：いちご（3色：赤、白、ピンク） 対象国・地域：米国、タイ、香港、マレーシア、台湾、UAE、英国、フィリピン

推進体制の構築

- 流通及び輸出を担う九州農産物通商（株）が中心となり全体をコーディネート、3色のいちご産地、生産者が会員となる協議会を令和6年度に設立
- 各輸出先国にある輸出支援プラットフォームと連携し、新たな商流の開拓、現地ニーズの把握等を実施
- 令和7年度、4つの産地（福岡県：ベジフルファーム（株）、佐賀県：渋田いちご園、むらおか農園、平川いちご農園）を協議会の新会員として迎え、連携体制を強化

生産の転換

- 台湾向けいちごの残留農薬基準に対応した栽培方法への転換
- タイ向け生産園地及び選果・梱包施設の登録
- フィリピン向けの生産園地登録を目指し、フィリピン輸出仕様の病害虫防除を進めるとともに、フィリピン向けのトラップ調査を開始・継続

流通の転換

- 輸送コスト及び輸送中のダメージを軽減するため、いちごの集荷を運送業者への委託から九州農産物通商（株）の直接集荷に変更
- 九州と本州の産地連携により輸出期間の長期化を実現
- コスト低減のため、福岡空港からの輸出に集約した試験輸送を実施
- 販路開拓を目的として現地仕入れ担当者等バイヤーを招へい
- 春先（3月以降）のいちごの傷み（主にかび）を防ぐため、「ゆりかーご」に加えて、抗菌・抗カビ効果の期待できる「ワサオーロ」を試験導入

輸出額目標（百万円）

品目	令和6年度 （実績）	令和8年度 （目標）
いちご	176.1	⇒202.2

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区の概要(福岡県)

実施主体名	福岡・大玉冷凍イチゴ輸出促進協議会
参画事業者	武下農園株式会社、株式会社terra、株式会社Connect Lab、株式会社WhomLab 等
対象品目 対象国・地域	イチゴ：EU、東南アジア

推進体制の構築

- 生産者・物流業者・就労支援機関・金融機関等を束ねながら、完熟イチゴの輸出に向けた組織を構築
- 輸出支援プラットフォームと連携し、現地の青果物流通に関する情報共有や戦略的な販路開拓を推進
- 福岡県産品の高付加価値の大玉冷凍イチゴの普及に向けた本協議会ロゴの設計、ホームページの立ち上げ

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 (実績)	令和8年度 (目標)
イチゴ	1.4	50

生産の転換

- 輸出に向けた大規模産地を形成するため、イチゴハウスの拡大を目指し、新規就農者の受け入れ促進を図る
- 就労支援機関と連携し、意欲のある人材に対して、農業や食品加工に関する技術・知識の研修プログラムおよび雇用支援を実施

流通の転換

- EUに向けたコールドチェーン構築のため、急速冷凍技術を活用した長距離輸送の実証実験を実施
- 鮮度保持の状態推移や品質変化を可視化・解析し、それらをマニュアル化することで、現地でも安定的に高品質ないちごを再現できる体制を構築
- 輸送効率の最適化、ブランド価値の向上、現地での販促効果の最大化を目的としたパッケージの開発および運用
- 専門家を起用し、市場調査および販売戦略の策定と実施

R7年度 大規模輸出産地モデル形成等支援採択地区の概要(長崎県)

実施主体名	長崎県
参画事業者	全国農業協同組合連合会長崎県本部、長崎西彼農業協同組合、長崎県央農業協同組合、  島原雲仙農業協同組合等
対象品目 対象国・地域	イチゴ：タイ、シンガポール、マレーシア 温州ミカン：ベトナム、シンガポール 牛肉（和牛）・水産物（タイ、ヒラメ、スズキ、マアジ、ブリ、ヒラマサ、マグロ）：タイ

推進体制の構築

- 輸出支援プラットフォームやG F P（本省・農政局）等と連携し、県内の新たな輸出企業の掘り起こしや産地との連携体制を図りつつ、輸出に取り組むチーム単位での生産・流通の転換を実施するためのアドバイスなどの伴走支援プログラムを実施
- 「輸出拡大実行戦略」で求められている熟度別の目線にあった事業者支援を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和5年度 （実績）	令和8年度 （目標）
いちご	46	60.7
かんきつ	7.7	18
牛肉	16.5	110
水産物	0	3
（合計）	（70.2）	（191.7）



（別記様式1から抜粋した数字であり、計画書と異なることがある）

生産の転換

- 【イチゴ】
 - 品質劣化防止のため、各時期で最適とされる収穫時の着色歩合を検討
 - 輸出規制に対応するため、輸出前の残留農薬検査とその結果に応じた防除暦への転換（タイ）
- 【温州ミカン】
 - 防虫対策カーテンの敷設等輸出基準を満たした選果場の環境整備を実施（ベトナム）
 - トラップ調査等の植物検疫への対応、残留農薬基準に対応した防除暦による栽培実証（ベトナム）
- 【牛肉（和牛）】
 - SDGsの観点から、県内未利用資源である焼酎粕、きのこ廃菌床、豆腐粕を肉用牛に給与し、相手国で求められる肉質は維持しながら、環境負荷の低い、持続的な生産体系を確立（タイ）
- 【水産物（タイ、ヒラメ、スズキ、マアジ、ブリ、ヒラマサ、マグロ）】
 - 現地ニーズに対応した製品の加工体制の構築、及び現地加工方法（例えばウエットエイジングなど）の検討（タイ）

流通の転換

- 【イチゴ】
 - 新たに開発したパッケージ品質保持効果の検証およびロス率低減の実証
 - リードタイム短縮のため、出荷時期や輸送経路などの見直し
- 【温州ミカン】
 - 輸出先国のニーズに対応した輸送時の鮮度保持を可能とする新たな輸出向けパッケージの開発
- 【牛肉（和肉）】
 - 輸送コスト低減のため、保冷資材を組み合わせた安価な混載方法を検証
- 【水産物（タイ、ヒラメ、スズキ、マアジ、ブリ、ヒラマサ、マグロ）】
 - コスト低減のため、冷凍品における船便輸送を検証（タイ）
 - マーケットニーズに合う加工品や品目の鮮度・品質保持の検証（タイ）